

REDISCOVERY



金沢大学資料館企画展 金大資料館 コレクション展 2015 資料館再発見。

場 所：金沢大学資料館展示室（角間北キャンパス附属中央図書館内）
会 期：平成 27 年 4 月 8 日（水）～平成 27 年 8 月 28 日（金）
*平日のみ開館 *8月12,13,14日は閉館
開館時間：午前 10 時～午後 4 時（入館は午後 3 時 45 分まで）
*8月10,11日は開館時間を午後 5 時まで延長
連 絡 先：金沢大学資料館 076-264-5215
メール：museum@adm.kanazawa-u.ac.jp



来館案内

金沢大学 角間キャンパス 広域図

アクセス
北鉄バス幕番53/91/93/94/96/97/98/99番利用
「金沢大学中央」バス下車、徒歩5分。
JR金沢駅東口からの所要時間は約40分です。

資料館展示室

正面入口

入口

入館無料

展示室開館時間
平日 10:00～16:00

- 展示室は中央図書館2階閲覧室の奥です。
- 資料館事務室にご用の方は、図書館カウンターにお申し出ください。



金大資料館 コレクション展 2015 資料館再発見。

Museum Collection 2015:
Rediscovery of Kanazawa University Museum
2015年4月8日（水）～8月28日（金）

金沢大学資料館は、1989（平成元）年4月に、金沢大学における学術研究資料を系統的に収集、整理及び保存し、教育研究に資することを目的として、学内共同利用施設として設立され、それ以来、資料の収集・整理・保存・展示及び講演会活動など、多様な活動を行ってきました。その結果、昨年度は資料館に6千人を超える方々にお越しいただくことができました。ゆっくりではありますが、着実に金沢大学資料館の存在が、学内外に知られるようになってきたものと関係者一同喜んでおります。そして、この度の「金大資料館コレクション展 2015：資料館再発見。」は、改めて資料館を知っていただくために、これまで収集した貴重な資料館コレクションから厳選した様々なジャンルの資料を一挙に公開するものです。金沢大学資料館は、貴重な歴史資料だけではなく、多くの理工系資料及び標本を有している総合博物館（ユニバーシティ・ミュージアム）です。本企画展では、第四高等学校を始めとする前身校の資料、埋蔵文化財調査センターが発掘した考古遺物、理系の標本、そして再発見された「前世紀動物模型」などを展示しました。必ずや皆様の目を釘付けにするような一品を見出しただけかと思っております。また、ヴァーチャル・ミュージアムのコーナーでは、スペースの関係で展示できなかった逸品やいままでの展示会の様子を体験していただけます。ご来館いただいた皆様には、様々な資料やイメージをじっくりとご覧いただき、金沢大学資料館の幅の広さを体感していただければ幸いです。

金沢大学資料館長 奥野 正幸

Museum Collection 2015: Rediscovery of Kanazawa University Museum

April 8 - August 28, 2015
Opening Hours: 10:00 - 16:00 (last entry 15 minutes before closing)
Close on Saturday, Sunday, public holiday, August 12, 13, 14.
Venue: Kanazawa University Museum (Kanazawa University Central Library)
tel: 076-264-5215 mail: museum@adm.kanazawa-u.ac.jp



附属図書館・資料館（右側の円形部分が資料館です）



The Kanazawa University Museum was established in April 1989 as an intra-campus common-use facility with aim of systematic collection, management, preservation, and educational use of the academic and research materials of Kanazawa University. Since then the Museum has conducted various activities such as the basic work mentioned above, exhibitions, and research seminars. These activities led to over 6,000 visitors being received last year, which is a result of our Museum's efforts. We are very pleased that the Museum has gradually become better known both inside and outside the university.

This Exhibition, "Rediscovery of the Museum: Kanazawa University Museum Collection 2015" was planned to show selected precious and rare materials from various parts of our collection in order to let you know and experience again the value of the Museum. Our collection includes not only rare historical materials but also academic specimens of the University's science and technology, which illustrate the significant value of our Museum as a general museum (or so-called University Museum). In addition to these materials noted above, the exhibition includes materials from former schools like the Forth Senior HighSchool, ancient artifacts discovered by the Center for Archaeological Research, rare scientific specimens, and recently rediscovered unique terracotta models of past creatures. We hope you will find some materials that will catch your eye. Moreover, in the "Virtual Museum" section, you will experience rare objects that were never exhibited for various reasons or past Museum exhibitions as digital information on the monitors.

We sincerely hope you enjoy experiencing the rich and wide range of materials exhibited from the collection of the Kanazawa University Museum. Finally, I express my sincere appreciation for all those who have cooperate in for the holding of this exhibition.

Masayuki OKUNO
Director
Kanazawa University Museum

第四高等学校 物理実験機器

Physics Apparatus



六分儀 Sextant



マックス・コール社物理機器カタログ 100号 MAX KOHL A.G. Preis list No.100,Volume.III

第四高等学校物理実験機器は、旧制第四高等学校で使用されていた教育実験用機器です。

1994年に703点の物理実験機器が石川県に譲渡され、現在は石川県立自然史資料館に所蔵されています。本館には輸入機器を中心とする91点の機器が収蔵されています。中でも、江戸時代の日時計「し景儀」は日本に数点しか現存していない貴重な資料です。

同時代にドイツなどから輸入した物理実験機器のカタログも展示中です。

歴史的文書

Historical Archives



「手書きの講義ノート(北里博士と柴山学士による講演録か)」
Hand-writing notes on lectures (of Dr. Kitazato and Mr. Shibayama?)

金沢大学の歴史を知る上で重要な史料です。

第四高等学校、金沢医科大学、石川師範学校、金沢工業専門学校など数々の前身校から受け継いだものと、1949年に開学した新制金沢大学からのものがあります。

本企画展では、明治時代の講義ノートや、女子師範学校の入学生写真などを展示しています。所蔵資料数は11,000点に上ります。

美術品

Art Works



如来坐像
Wooden seated statue of Tathagata

本館は、金沢大学で美術教育に携わっていた教官による美術作品、師範学校などの前身各校から伝わる書画も収蔵しています。

加賀の藩校であった明倫堂と経武館の扁額は加賀の学問の歴史を知るうえで重要な資料です。また、展示中の平安時代中期の如来、菩薩、天部の木造仏は美術の教材として使われていました。



明倫堂扁額
Calligraphic art "MEIRINDO"

幕末から明治にかけて金沢市の尾張町界隈で暮らしていた町人・梅田基三久による「梅田日記」を中心とした梅田家から寄贈されたコレクションです。時代が変わる頃の金沢を描写した庶民の日記として非常に貴重な史料です。また、江戸時代につくられた色刷りの日本地図「新刻日本輿地路程全図」(1791)も新しく額装しました。

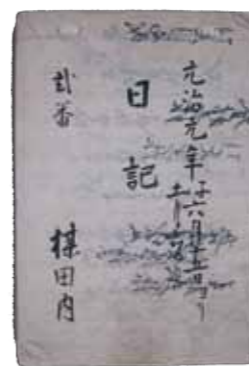
日露戦争時代の階級章や「日本海大海戦実写」も展示中です。



日本帝国海軍階級章
Insignia of Imperial Japanese Navy

梅田家資料

Umeda Family Documents



「日記武番」 Umeda Diary No.2

考古資料

Archaeological Objects

本資料館の収蔵する考古学資料は、本学の教員や附属機関が実施した発掘調査により遺跡から出土した遺物です。

展示中の縄文土器や江戸時代の陶磁器は、金沢大学埋蔵文化財調査センターによって、大学構内の遺跡から発見されました。同センターの発掘調査で、縄文時代から中世、近世、近現代にかけての遺構や遺物といった昔の人々が残した活動の痕跡が数多く発見されました。



九谷焼茶碗
Kutani Ware, Bowl

本館は、第四高等学校をはじめとする前身校で教育用に使われていた標本や模型も所蔵しています。

キノコムラージュ標本をはじめ、島津製作所によるテラコッタの「前世紀動物模型」、四高時代に使われていた動物剥製標本などその種類は多岐にわたります。



「前世紀動物模型」
ラエラプス(ドリプトサウルス)
Teracotta model,
Laelaps aquilungis (Dryptosaurus)

標本・模型

Specimens and Models



キノコムラージュ標本タマゴタケ
Moulage model of fungi, Amanita hemibapha

出展資料リスト

【暁烏陶磁器コレクション】
九谷美人絵皿、九谷花蝶文青手鉢、陶製狛犬

【梅田家資料】
「梅田日記(式、伍)」、「新刻日本輿地路程全図」、日本海大海戦実写

【第四高等学校キノコムラージュ標本】
シロシメジ、クロカワ、カキシメジ、キツネノチャブクロ、ナラタケ、ドクツルタケ、コベニタケ、サンコタケ、カニノツメ、ツチカブリ、タマゴタケ、ハナホウキダケ、アカジコウ

【前世紀動物模型】
ステゴサウルス、プロントサウルス、ラエラプス(ドリプトサウルス)、マンモス、シバテリウム、メガテリウム

【動物剥製標本】
ムササビ、ナマケモノ、エジプトネズミ、センザンコウ、ライチョウ(秋毛)、カモノハシ、ハリモグラ、チョウザメ

【第四高等学校物理実験機器】
六分儀、経緯儀、サイレン、実体目鏡、ステレオスコープ、エジソン氏フォノグラフ、クルックス氏管、し景儀、円柱鏡、キルヒホフ・ブンゼン氏分光器

【美術資料】
酒見龍護寺木造仏如来地蔵菩薩天部、広田百豊『富士山』、『明倫堂』扁額、『経武館』扁額、『至誠』扁額、中林忠良『海に』

【医学教示図】
ブラウネ静脈図、ウェーバー実物大解剖図、医学博士西成甫監修新撰人体解剖図

【考古資料】(埋蔵文化財調査センター蔵)
縄文土器、墨書土器、越州窯製の青磁水注、煎茶の道具一式、茶道の道具一式、金澤病院の食器

他

*会期中、展示資料の一部を入れ替えすることがあります。



●金沢大学資料館ヴァーチャル・ミュージアム
大学が所蔵する学術資料を高精細の画像でご覧いただけるヴァーチャル・ミュージアムを展開中。気になる展示資料をどこでも「鑑賞」いただけます。
<http://kuvm.kanazawa-u.ac.jp/>

**KANAZAWA
UNIVERSITY
MUSEUM**